

第8期第6回 苫小牧市地域包括支援センター運営協議会

日時：令和2年9月15日（火）18:30

場所：苫小牧市役所北庁舎 22階会議室

会議内容

議事

- 1 地域包括支援センターの運営について
- 2 地域密着型サービス事業所の指定について（非公開）
- 3 その他

第8期第6回 苫小牧市地域包括支援センター運営協議会

日時：令和2年9月15日（火）18時30分～

場所：苫小牧市役所北庁舎2階22会議室

会議趣旨

議事1 地域包括支援センターの運営について

（質疑応答）

特になし

議事2 地域密着型サービス事業所の指定について（非公開）

（質疑応答）

特になし

議事3 その他

1 地域密着型サービスの指定についてはこれまで本協議会にお諮りしてきたが、協議会前にはサービスを開始できないといった実務上の不具合もあった。

指定については速やか、かつ、適切なタイミングで行う必要があり、今後は年度ごとに指定の状況等について報告する扱いに変更する。

（質疑応答）

深瀬委員：口頭での報告であるが、文書化したものを提示する考えはないのか。

事務局：軽微な取扱いの変更と考えており、特段の文書化は予定しておらず、今回、口頭による報告とさせていただいた。

2 次回の運営協議会の開催は、来年3月を予定し、以下の内容を検討したい。

- ・令和3年度地域包括支援センター運営方針案
- ・令和2年度地域包括支援センター事業評価
- ・地域密着型指定事業所の指導・監査等の実施状況

○地域包括支援センターの在り方について

1 地域包括支援センターの在り方検討の背景

(1) 高齢者人口の増加

高齢者人口が増加しているが、相談対応等も増加している。平成27年度に地域包括支援センター職員を1名増員対応したが、今後も業務量の増加が見込まれる。

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
認定者数	7,647	7,978	8,307	8,681	8,921	9,061
高齢者人口	43,347	44,936	46,418	47,813	48,868	49,595
相談件数	23,068	25,283	26,021	27,377	25,904	28,856
3職種 (人工)	3人	4人 (東包括3.5人)	4人 (東包括3.5人)	4人 (東包括3.5人)	4人 (東包括3.5人)	4人 (東包括3.5人)

	平成30年4月現在			令和2年4月現在		
	人口	高齢者人口	高齢化率	人口	高齢者人口	高齢化率
西包括	24,941	8,371	33.6	24,764	8,704	35.1
しらかば包括	20,946	7,064	33.7	20,422	7,433	36.4
山手包括	22,224	7,753	34.9	21,905	7,989	36.5
南包括	18,144	6,093	33.6	17,417	6,191	35.5
中央包括	21,165	5,984	28.3	20,595	6,073	29.5
明野包括	28,388	7,303	25.7	28,119	7,734	27.5
東包括	36,005	5,246	14.6	36,968	5,476	14.8
合計	171,813	47,814	27.8	170,190	49,600	29.1

2 検討における課題

(1) 人材確保が困難

医療や介護、福祉人材が不足する中、保健師等、社会福祉士等、主任介護支援専門員等の配置が必要とされる地域包括支援センターの人材確保も困難となりつつある状況がある。

(2) 財政的負担の増加

現在の地域包括支援センター1か所あたりの年間委託料は、2千6百万前後。増員を検討する際には財政負担への考慮が必要となる。

(3) 職員の資質向上

包括職員の入れ替えが多く、複雑・困難ケースも増加しており、職員の資質向上が必要となる。

(4) その他

平成27年から現行体制で運営しており、各地域包括支援センターが地域の関係団体とネットワークをつくり協働して業務にあたっている。包括運營業務のほか、委託事業の実施

における連携の強化が必要となる。

3 見直しの方針

- (1) 高齢者人口増加における人員体制の考慮
- (2) 地域や関係機関との連携のし易さ
- (3) 包括業務における稼働負担の軽減
- (4) 市民や介護事業者への影響を考慮

4 対応策

(1) 地域包括支援センターの体制強化

相談件数の増加や地域包括ケアシステムの構築のため、地域包括支援センターの体制強化を図るに当たっては、次の方法が考えられる。

- ① 事務負担の軽減
- ② 東地域包括支援センターの人員体制強化
- ③ 機能強化型センターへの位置づけ